

# 授業改善プラン

地域名	東葛飾教育事務所	学校名	流山市立流山北小学校
-----	----------	-----	------------

## 1. 課題（これまでの全国学力・学習状況調査結果等から）

- 平成30年度調査結果から、「数量関係」に課題が見られ、特に数直線などの読み取りができていないなど2つの数量関係を正確に理解できていないことが考えられ、2年間継続して取り組んでいる。
- 令和元年度調査では、国語、算数ともに全国平均を下回っている。算数の「数と計算」が全国平均を下回っており、基礎基本の定着が必要である。児童質問紙から「家庭での学習習慣」が課題であることが分かった。
- 令和元年度の児童質問紙から「家庭での学習習慣」が課題であることが分かり、継続して取り組んでいる。

## 2. 取組のポイント（仮説、改善方法等）

- 数直線の読み取りに力を入れるとともに、適用問題に焦点を当てた授業改善を全学年で行っていけば、数量関係に関する知識・理解及び活用力の向上が図れるだろう。

## 3. 具体的な実践

- 第4学年「倍の見方」【別添資料1】
  - ・テープ図を使った倍の比較に取り組んだ。
- 第6学年「比例と反比例」【別添資料2】
  - ・ツールとして数直線を活用して比例に取り組んだ。
- 第1学年「たしざんとひきざん」【別添資料3】
  - ・ドット図をかき、それを活用して立式する学習に取り組んだ。
- 算数における基礎基本の定着のための取組
  - ・各学年の実態に合わせて、基礎基本の定着を図っている。

## 4. 成果

- 令和元年度全国学力・学習状況調査（令和2年度実施）を実施したところ、数量関係の領域の正答率が全体的に大きく向上した。（最大で3（2）の問題が全国より22ポイント上回った）
- 令和元年度全国学力・学習状況調査（令和2年度実施）を実施したところ、記述式の問題が全て全国平均を上回った。
- 令和元年度全国学力・学習状況調査（令和2年度実施）を実施したところ、平均正答率が全国より3ポイント上回った。

### ◆担当指導主事から（東葛飾教育事務所 指導主事 林部 理絵）

今年度も昨年度と同様の研究テーマで実践を重ねてきた。特に第6学年は、昨年度の「数直線」のかき方から取り組んだ学年であり、公開研究会において実践した「比例の応用」の問題にも「数直線」を用いて考える児童の姿も見られ、成果が感じられた。

系統性を重視して取り組んだ2年間の成果が、児童の学力の数値的なデータにおいても、また教職員の指導力向上の面においても顕著に表れていた。